

会報

第45号 (2018/6/29)

広島県福山市木之庄町 4-3-14

Tel&Fax:084-917-5937

Mail:info@crcc-fukuyama.org



Community Renaissance
Research Center

今後の予定

「ケアの社会学」を読む会

7月12日(木) 16時半〜

・場所: ルネッサンス研究所
・参加費: 300円

・読む本: 上野千鶴子著『ケアの社会学』
・内容: 第4章「ケアに根拠はあるか」
(100ページから)

牧田さんの解説が面白いですよ。

シロントロジー研究会

7月24日(火) 14時〜

・場所: ルネッサンス研究所
・参加費: 300円

・内容: 『コミュニティヘルスのある社会へ』122ページから。

今回は、この本にあった「町かど保健室」のように、どのようにして医者を選べば良いの、だろうという話で盛り上がりました。

4回連続講座 上手な転び方

「健康寿命を延ばすために」

二本足で歩く私たちは「転ぶ」ことを避けて通れないと言われています。そのために、あえて転びケガを軽くする方法を学び身につけてみませんか。

まず一回目は岡田先生の講義、二回目からは中村先生との実技を行います。

第1回 講義編

演題:七転び八起きをめざした健康作り

「転ばぬ先のわざとチェ」

年をとると何故ころびやすくなるのか。それを老化とからだ」の仕組みから考えてみましょう。

ころんだ時のケガを軽くするにはどんなことに注意すればよいのかを考えてみませんか。

講師:岡田修一先生

神戸大学大学院研究科長・教授

日時・場所:下記の表参照

募集:どなたでも 先着40名

参加費:●講習1回、実技3回の連続講座

24000円(一括払い)

●講義のみの受講も歓迎します

6000円(会場費・資料代)

第2〜4回 実技編

講師:中村和裕先生(福山大学助教)

日時:左記の表参照

場所:福山市武道館

福山市丸の内1丁目9-6(駐車場有)

参加費:●実技1回につき6000円

(保険料、会場費、道着レンタル代)

募集:どなたでも(先着20名)

持参品:タオル、飲み物、女性はTシャツ

※柔道着はこちらで用意します。(貸出無料)

★お申し込みはNDACまで

	内容	講師	日付	時間	場所
第1回	講義	岡田修一先生	9/2 (日)	14:00 ~ 16:00	市民参画センター
第2回	実技	中村和裕先生	9/29 (土)	13:00 ~ 15:00	武道館
第3回	実技	中村和裕先生	10/13 (土)	13:00 ~ 15:00	武道館
第4回	実技	中村和裕先生	10/20 (土)	13:00 ~ 15:00	武道館

今号の内容

- ・ お花見
- ・ こいまつり
- ・ 総会
- ・ 編集後記

※内容は以下に記載

活動報告

お花見

4月2日月曜日に許可をとって市立大学の北本庄キャンパスへお花見に行きました。今年も地域の絆の利用者さんにも声をかけて一緒にしました。午前中、NPOで皆が持ち寄った料理を重箱に詰め、車を取り合わせてキャンパスに向かいました。満開の桜がひらひらと散って、地面は一面桜の花びらの絨毯のようでした。

お花見用の机、椅子をセッティングしていると、地域の絆の利用者さんと職員さんも到着。車いすの利用者さんと一緒に桜の木の下に移動すると和あ、きれいと歓声をあげていらっしやいました。その後は皆で舞い落ちる花びらの元で昼食を囲みました。見事な桜の下でいただく手作り料理のいいこと。食事の後も、利用者さんはしばらく桜を愛でておられました。中には「あんまりきれいだから」とおっしゃって、花びらを沢山集めて持って帰られる方も。食後のコーヒーを飲みながら穏やかな午後のひとときを過ごすことができました。

今年も沢山の「つくし」をNPOに持って来て下さった原田さん、どうもありがとうございました。料理上手の三浦さんの手で絶品のつくだ煮になりました。



桜ふぶきの中、「はい、ポーズ！」

こいまつり

5月6日(日)に恒例のこいまつりが開催され、利用者さんをはじめ地域の絆の職員さんや園児の皆さんがステージで歌や演奏を披露、出店やバザー販売が行われ、当NPOも参加してきました。

3月よりコーラスの練習を行ってきた仁伍「ニコニコ合唱団のみなさん。計3回の練習を経てこいまつりのステージに立ち、「ニコに幸あり」知床旅情「茶摘」などの歌を元氣よく歌いました。今回は地域の絆に研修に来られている大学の学生さんも一緒にステージに上がり、総勢20名以上の大合唱となりました。回を重ねるごとに参加者が増えているように感じられます。

また今回は、初めてのオリジナルソングのお披露目もありました。利用者さんに「福祉センター仁伍」で思い浮かぶ言葉を出し合っていたとき、それを職員さんと一緒にまとめ、歌詞を作られました。歌謡曲「青山脈」のメロディにのせた替え歌、「颯域福祉センター仁伍の唄」です。歌詞と旋律を合わせるのが少し難しい箇所もあるのですが、3回の練習でしっかり覚えておられたようで、最後までスムーズに歌い上げていらっしやいました。指導者の村山ひろみさんお手製の折りばらのブローチを胸に、堂々と歌っておられる姿は輝いて見えました。地域の絆がめざしている、利用者さんが祭の主人公として参加出来ている姿ではないでしょうか。

NPOの出店は、子どもたちに人気の「つりぼり」。「わなげ」とリサイクルバザーでした。そして今回初の試みとして、フランクフルトの販売も行いました。磁石のついた竿で、クリップのついた魚の絵を釣り上げる「つりぼり」は相変わらず人気で、大勢の子どもたちが遊びに来てくれました。景品のお菓子やオモチャを選ぶまなざしは真剣そのもの。また、フランクフルトは大人にも子どもにも好評で、用意していた60本全てを売り切ることができました。



「つりぼり」は、いつも大人気

ステージでは園児さんの踊りやハーモニカ演奏などが繰り広げられ、最後は学生さんたちによるバルーンアートの催しでした。最初は子どもと共に楽しむイベントが考えられていたようでしたが、利用者さんも一緒に楽しんだら」と言うと、本当に若者・子ども・利用者がともに楽しむ、地域の絆らしいイベントの締めくくりとなりました。

参加型のイベントで、大勢の子どもたちがステージに上がり、バルーンでかっこいい剣を作りました。大学生のお兄さん・お姉さんのお手本を見ながら、一人一本ずつプレゼントされた長〜い風船を、ねじったり丸めたりと細工して、剣に仕上げました。男の子も女の子も大喜びです。地域の絆の利用者さんたちも子どもと一緒にバルーンアートのチャレンジされ、出来上がった剣とともに遊んでらっしゃるのはほほえましい姿でした。

今回も出店でお手伝い下さった皆様、どうもありがとうございました。



高齢者も、子どもも、若者も
バルーンアートで楽しむステージ

地域福祉センター仁伍の唄

(若い老人)

歌詞アレンジ：地域福祉センター仁伍

- 一 いーつーも明るい 仁伍センター
悩みもー消える 若返る
城下町福山の 仁伍センターで
気持ちだけ 今日若く
がーんーばろう
- 二 目元のシワシワ さーようなら
膝のぎくしゃく さーようなら
地域オアシス 仁伍センター
来てみてみーんーさい
からだごとー ひざのモヤモヤー
消えーてーゆく
- 三 通いのみんなは 美男美女
センター職員 美男美女
老いも若きーもー 明るい未来
希望持ち 今日元気に
がーんーばろう

2018年度総会を開催

6月6日午後2時より、2018年度通常総会を開催しました。2017年度の事業報告、活動計算報告、監査報告および2018年度の事業計画と活動予算案が承認されました。

2018年度事業計画についての質疑では、来年度がNPO法人コミュニティルネッサンス研究所の設立10周年に当たることから、理事会を中心に10周年記念を企画立案してはどうか、という提案があり、前向きに取り組むことになりました。

また3号議案では役員変更が提案されました。これまで理事として当会の活動に尽力下さった平田功一さんが体調の都合で退任され、新たに松浦律子さんが理事に就任して下さいになりました。

平田さん、長い間理事の仕事とホームページの管理を務めていただきありがとうございました。引き続き当会のホームページ更新やIT関係の相談をお願い致します。そして松浦さん、これからどうぞよろしくお願い致します。



総会後の行事として、平本弘子・福山市立女子短期大学名誉教授による歌とお話がありました。歌は『イギリスのフェミニストの詩 麗をとるほど大胆になるわ』に曲をつけたものでした。かぶりつきで、まるで古き良き時代のサロンコンサートを味わっているようでした。詳しくは次号のニュースでお伝えします。

そして、その後は会員の懇談交流を行いました。各テーブルでお話しが盛り上がり、ある会員さんからは「NPOのブログを作り、公開してはどうか」といった貴重な意見もいただきました。



とてもパワフルで迫力のある演奏。
聴衆もセリフで参加し、楽しみました。

編集後記



今朝のニュースで、佐々木正美・著『育てにくい子』と感じたときに読む本』についての特集が取り上げられており、つい長男の小さい頃の子育てを思い出してしまいました。赤ちゃんの頃はスパーで買い物をするにも困難を感じるほどよく泣く子でした。幼稚園に入園し、少しでも自分の思い通りにならない事があると、カンシャクをおこして大暴れ。好奇心旺盛で、小学校では人の物を壊したり、お友達ともよくケンカをして帰りました。そのたびに母親の私は、お友達や相手のおうちの方、先生に「ごめんなさい。」と謝ってばかり。自分の育て方が悪いのではないかと落ち込む日々でした。このように、我が家の長男はとも手のかかる子どもでした。

そんな時に出会ったのがこの本でした。この本により私の子どもとの接し方が変わりました。

親が望むような子にしよう」と思うのではなく、子どもが望むような親になれるよう努力するようになったのです。手がかかる子や、要求の多い子は蘭や菊の花なんです。手をかければ見事な大輪の花を咲かせます」という著者の言葉にハッと、私は手のかかる花を育てているのだ。将来が楽しみだわ。」と思つことにしました。

考えを切り替えることで少しずつ、育児を頑張る自分に自信を持って子どもと接することができるようになりました。子どもはすぐには変化を見せず、その後も突然のカンシャクをおこしたり、学校でも数々のトラブルをおこしましたが、歳とともに徐々に落ち着き、今では妹も可愛がるお兄ちゃんになりました。

現在は中学生で、反抗期まったただ中。ですが、慌てず焦らず。今でも時々この本を引っ張り出して勇気をもたらしています。

世の中の流れで成人が18歳になろうとしています。ですが性急に「早く早く」とせかして大人に仕立て上げるのではなく、その子なりのペースでゆっくり成長するのを待ってあげられたらと思っています。子どもと共に成長していく母でありたいと思います。(兼)

